

西大和学園高等学校 様
令和元年
アンケート結果 御報告

調査科目：保健体育（英語のみによる指導）

実施期間：2020年2月

報告内容：クラス別結果、全クラス結果



ベルリッツ・ジャパン株式会社
2020年 4月吉日

西大和学園高等学校			授業アンケート			英語のみによる芸術教科		
学年	1	年	学級	全体	組	保健体育		
在籍数	0	名	回答数	159	名	2020年2月実施		

No. 学習内容の興味・指導方法

- 1【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。
- 2【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。
- 3【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。

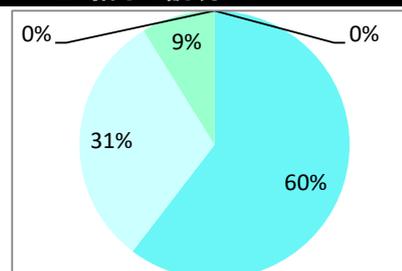
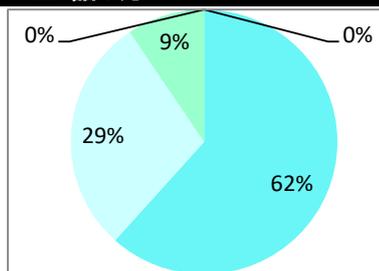
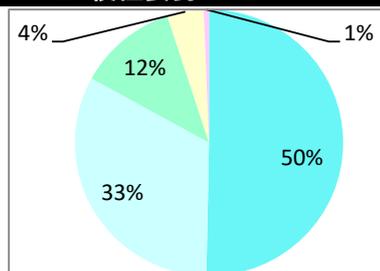
No. 学習環境・長期的な展開

- 4【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。
- 5【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。
- 6【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。

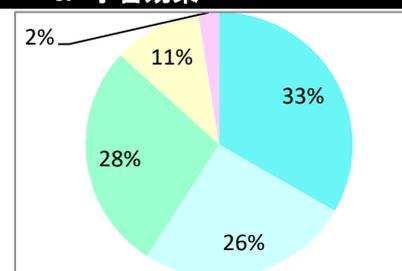
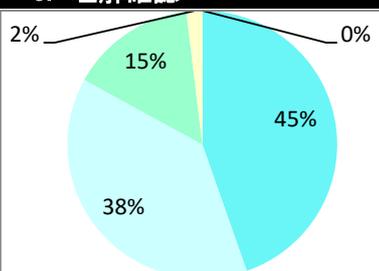
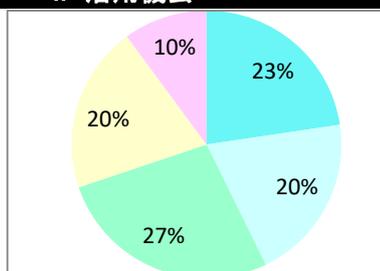
集計結果

I 学習内容の興味・指導方法		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
1	【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。	80	52	19	7	1	159
2	【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。	98	46	15	0	0	159
3	【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。	96	49	14	0	0	159
II 学習環境・長期的な展開		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
4	【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。	36	32	43	32	16	159
5	【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。	71	61	24	3	0	159
6	【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。	53	41	44	17	4	159

1. 積極姿勢 2. 話し方 3. 指示と説明



4. 活用機会 5. 理解確認 6. 学習効果



【アンケート結果による課題と今後の施策】

「問4. 活用機会」をさらに増やすには、ベルリッツによるLesson Observationの項目のうち、3. ～6. に特に集中して、授業のデリバリースキルを向上することが重要です。

西大和学園高等学校			授業アンケート			英語のみによる芸術教科		
学年	1	年	学級	A	組	保健体育		
在籍数	名	回答数	51	名	2020年2月実施			

No. 学習内容の興味・指導方法

- 1【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。
- 2【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。
- 3【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。

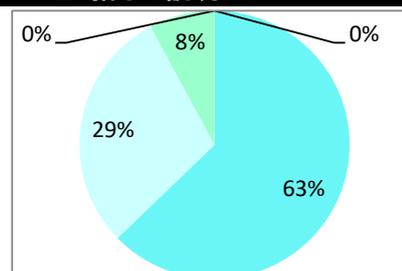
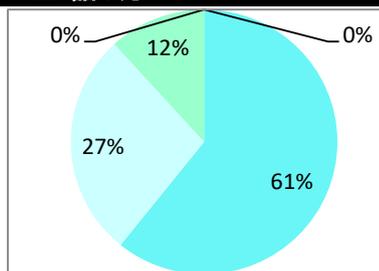
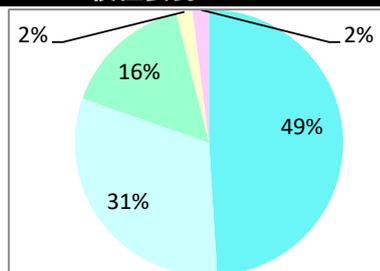
No. 学習環境・長期的な展開

- 4【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。
- 5【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。
- 6【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。

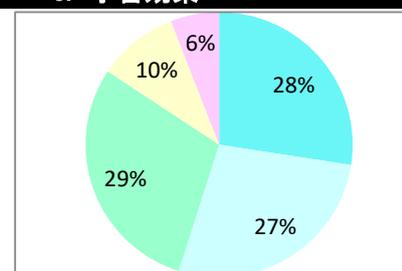
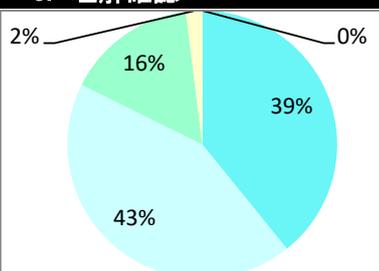
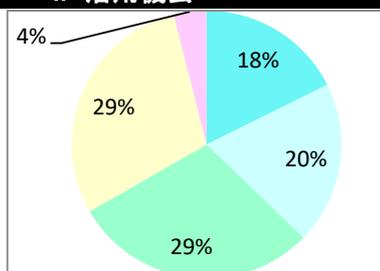
集計結果

I 学習内容の興味・指導方法		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
1	【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。	25	16	8	1	1	51
2	【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。	31	14	6	0	0	51
3	【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。	32	15	4	0	0	51
II 学習環境・長期的な展開		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
4	【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。	9	10	15	15	2	51
5	【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。	20	22	8	1	0	51
6	【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。	14	14	15	5	3	51

1. 積極姿勢 2. 話し方 3. 指示と説明



4. 活用機会 5. 理解確認 6. 学習効果



【アンケート結果による課題と今後の施策】

「問4. 活用機会」をさらに増やすには、ベルリッツによるLesson Observationの項目のうち、3. ～6. に特に集中して、授業のデリバリースキルを向上することが重要です。

西大和学園高等学校			授業アンケート			英語のみによる芸術教科		
学年	1	年	学級	B	組	保健体育		
在籍数	名	回答数	54	名	2020年2月実施			

No. 学習内容の興味・指導方法

- 1【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。
- 2【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。
- 3【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。

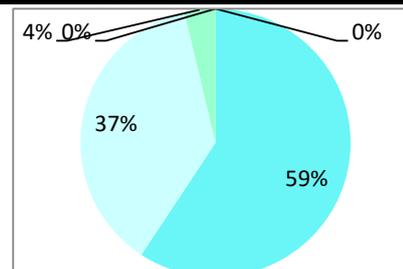
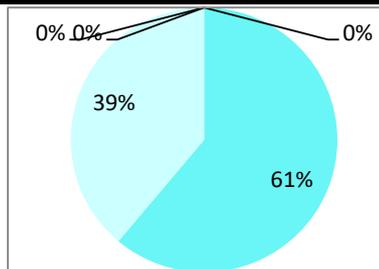
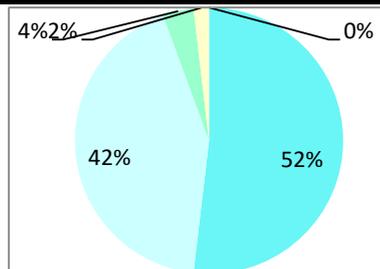
No. 学習環境・長期的な展開

- 4【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。
- 5【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。
- 6【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。

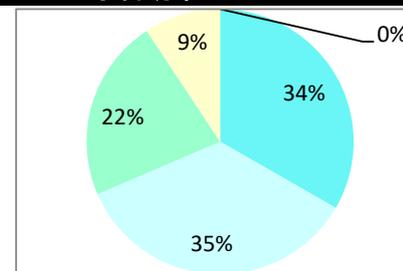
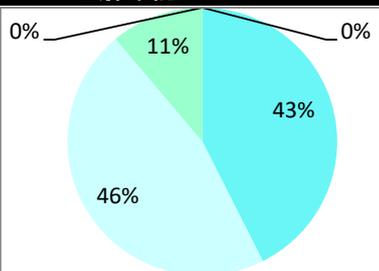
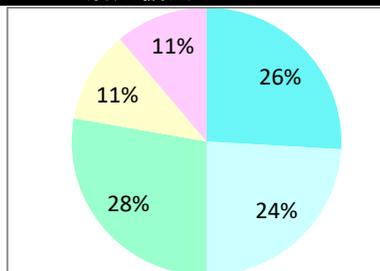
集計結果

I 学習内容の興味・指導方法		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
1	【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。	28	23	2	1	0	54
2	【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。	33	21	0	0	0	54
3	【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。	32	20	2	0	0	54
II 学習環境・長期的な展開		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
4	【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。	14	13	15	6	6	54
5	【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。	23	25	6	0	0	54
6	【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。	18	19	12	5	0	54

1. 積極姿勢 2. 話し方 3. 指示と説明



4. 活用機会 5. 理解確認 6. 学習効果



【アンケート結果による課題と今後の施策】
 バランスの良いクラスマネジメントの好例です。

西大和学園高等学校				授業アンケート		英語のみによる芸術教科	
学年	1	年	学級	C	組	保健体育	
在籍数	名	回答数	54	名	2020年2月実施		

No. 学習内容の興味・指導方法

- 1【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。
- 2【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。
- 3【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。

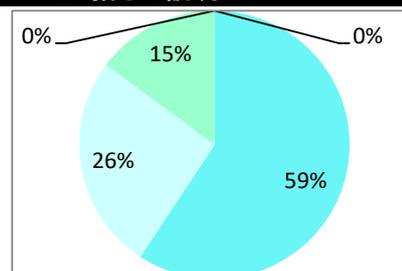
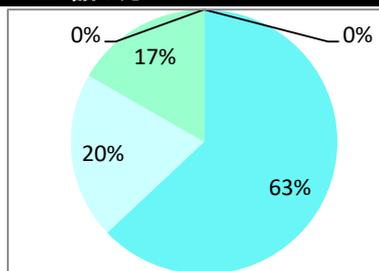
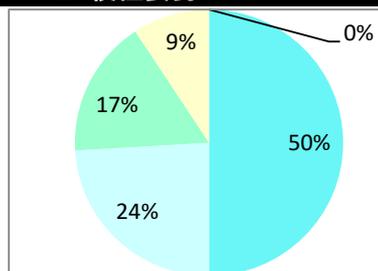
No. 学習環境・長期的な展開

- 4【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。
- 5【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。
- 6【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。

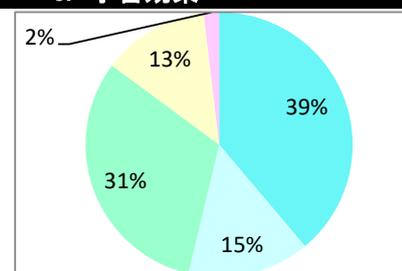
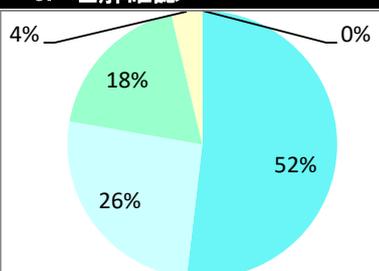
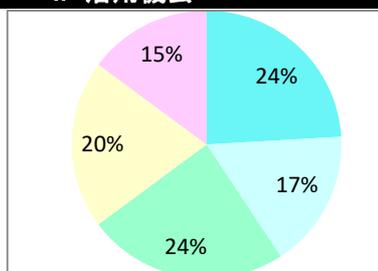
集計結果

I 学習内容の興味・指導方法		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
1	【積極姿勢】 この授業を積極的姿勢で受講できている。	27	13	9	5	0	54
2	【話し方】 先生の言葉は、生徒が理解しやすいようにはっきりと話してくれる。	34	11	9	0	0	54
3	【指示と説明】 先生は、生徒が理解しやすいように説明や指示を工夫してくれる。	32	14	8	0	0	54
II 学習環境・長期的な展開		非常によく当てはまる	よく当てはまる	どちらかといえば当てはまる	あまりあてはまらない	当てはまらない	計
4	【活用機会】 宿題や課題など、学んだことを使う機会が与えられている。	13	9	13	11	8	54
5	【理解確認】 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。	28	14	10	2	0	54
6	【学習効果】 授業を受けて、学力向上や自分の進歩を感じる。	21	8	17	7	1	54

1. 積極姿勢 2. 話し方 3. 指示と説明



4. 活用機会 5. 理解確認 6. 学習効果



【アンケート結果による課題と今後の施策】

「問4. 活用機会」をさらに増やすには、ベルリッツによるLesson Observationの項目のうち、3. ～6. に特に集中して、授業のデリバリースキルを向上することが重要です。